

2026年3月5日
イオン北海道株式会社

3月5日（木）より衣料品の回収品目を追加し、 資源循環の取り組みを拡大します

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、3月5日（木）より不要になった衣料品の回収・循環の取り組みを拡大し、実施店舗も3店舗増の道内のイオン、イオンスーパーセンター36店舗で実施します。

今回の取り組み拡大により、サステナビリティの重点施策としてお客さまとともに行っている、限りある資源の回収・再利用・再生の取り組みをさらに加速させてまいります。



国内における衣料品の年間廃棄量は、約56万トン^{※1}とされ、使用可能なものを含めて大量に廃棄されています。衣料品廃棄要因のひとつとして、回収拠点の不足や収集運搬、保管・選別コストなどの課題があり、効率的な回収システムの構築が求められています。

当社は、2021年10月より衣料品回収を実施しており、道内33店舗の衣料品売場に回収ボックスを常設し、衣料品だけの回収に取り組んできました。

このたび、新しい衣料品回収として、衣料品に限らず、雑貨やホビー、おもちゃなども回収品目に追加し、回収を行っていきます。

お客さまから回収した衣料品や雑貨などは、再利用できるものと再資源化するものを選別を行い、地域の行政や事業者の皆さまと連携して、持続可能な資源循環を実現していきます。具体的には、これまでの古着やウエス^{※2}等での利用に加え、「服から服」への再生、店舗の内装材などヘアップサイクルしていく予定です。

同時に、回収した資源のトレーサビリティを確保し、環境負荷の削減効果や再生材の普及促進など資源循環の価値をお客さまへお伝えするなど、環境意識のさらなる醸成を図っていきます。

イオンは、地域の資源循環の拠点として、衣料品を捨てずに循環できる機会を提供するとともに、お客さまが参加しやすい資源循環の取り組みを拡大してまいります。

※1 令和6年度循環型ファッションの推進方策に関する調査業務 2024年版 衣類のマテリアルフローより

※2 汚れなどを拭くための布のこと

■回収対象となる品目と対象外の品目

衣料品
回収対象となる品目。




以下のものは回収できませんので、ご注意ください。



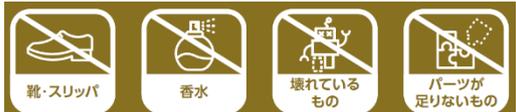
- ・一度回収したものは返品できません。
- ・汚れたもの、濡れたものを入れないでください。
- ・やぶれ・シミ・カビ・過度の毛玉があるものは回収できません。

雑貨・おもちゃ
回収対象となる品目。



- ・ベルト・腕時計・ゲームソフト・フィギュア・ソフビ人形・ブロックの回収も行っています。

以下のものは回収できませんので、ご注意ください。



- ・一度回収したものは返品できません。
- ・濡れたものは入れないでください。
- ・やぶれ・シミ・汚れがひどいものは回収できません。
- ・回収ボックスに入る大きさのものに限ります。
- ・電池は取り除いてから入れてください。
- ・バッテリー搭載のものは回収できません。

■回収実施店舗

市町村	実施店舗	回収品目
札幌市	札幌桑園店、札幌藻岩店、石狩緑苑台店※、札幌元町店、札幌苗穂店、札幌麻生店、札幌平岡店、新さっぽろ店、東札幌店、手稲山口店※、札幌発寒店、札幌琴似店、札幌手稲駅前店、札幌西町店	衣料品・雑貨・おもちゃなど
旭川市	旭川西店、旭川永山店	
苫小牧市	苫小牧店	
釧路市・釧路町	釧路昭和店、釧路店	
帯広市	帯広店	
北見市	北見店	
登別市	登別店	
伊達市	伊達店	
千歳市	千歳店	
北斗市	上磯店	
新ひだか町	静内店	
三笠市	三笠店※	
紋別市	紋別店	
岩見沢市	岩見沢店	
名寄市	名寄店	
滝川市	滝川店	
根室市	根室店	
江別市	江別店	
余市町	余市店	
室蘭市	室蘭店	
小樽市	小樽店	衣料品のみ

※イオンスーパーセンター

【ご参考】

【イオンのサーキュラーエコノミーの取り組みについて】

イオンは、2030年までに使い捨てプラスチック使用量を半減する（2018年比）目標を掲げ、容器包装資材の削減や環境配慮型素材への転換、店舗を起点とした資源循環モデルの構築などを進めています。

サーキュラーエコノミーにかかる具体的な取り組みのひとつとして、お客さまにご持参いただいた使用済ペットボトルの回収・運搬・リサイクル・商品化まで一気通貫して取り組む「ボトルt o ボトル」プロジェクトを2021年より開始しています。地域特性を考慮した循環モデルの整備を全国で進めており、トップバリュのペットボトル飲料の容器として利活用しています。

今後もお客さまとともに、資源の無駄遣いや使い捨てを見直し、循環型社会の実現を目指してまいります。

イオン プラスチック利用方針

1. 事業活動における資源の無駄遣いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
2. 必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
3. 店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組めます。



店頭資源回収活動
“つなぐステーション”



リサイクル素材を
使用した商品の展開



環境配慮型商品特集「えらぼう。
未来につながる今を」フェア



イオン北海道では、2026年3月より、「環境・社会貢献活動」に関する情報を発信する公式SNSアカウントを開設しました。今後、当社の取り組みをSNSを通じてお届けしてまいります。

【URL】

<https://www.instagram.com/aeonhokkaidokankyou/>

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道（株） コーポレートコミュニケーション部 電話番号：011-865-9111